

## 二ツ井小学校森林教室（天然秋田杉見学）を開催しました！

令和3年9月9日、仁鮎水沢スギ希少個体群保護林において、二ツ井小学校3年生を対象とした森林教室（天然秋田杉見学）を実施しました。

当日は、夜中から雨が断続的に降り続く不安定な天気でしたが、小学生37名と（1名欠席）と先生等6名が現地駐車場に着く頃には、奇跡的に雨もあがり、雨具や雨合羽を着なくてもよい状態となりました。



【はじめの会】 ↑

「はじめの会」では、スタッフ（6名）の紹介と天然秋田杉見学に当たっての注意事項を確認。その後、天然林と人工林の違いを感じてもらうため、駐車場に隣接するスギ人工林（72年生）の説明からスタートし、3班に分かれて保護林へと進みました。



【班ごとにスタート】 ↑

← 【看板前で保護林の説明】

【天スギの中を進みます】 ↓



【木道はすべるよ～】 ↑



保護林では、最初に「泣き杉」(直径94cm高さ40m)がお出迎え。子供たちはその大きさにまずはビックリ。案内板の前で保護林の概要について説明を受け、いよいよ天然林の中へ。歩道沿いに林立する天スギの大木に歓声をあげながら進んでいきました。歩道は木で整備されているものの、直近までの雨でぬれてたいへん滑りやすく、中には転んでしまう子供もいましたが、それでもみんな元気に進みました。



【直径はどれ位?】↑

いくつもの大木をみながら、天然杉では高さ日本一の「きみまち杉」(直径1.64m高さ58m)へ到着。スタッフからきみまち杉について説明を受け、直径や樹高を確認するなどした後、班ごとに写真を撮りました。

見学を終えた後、再び駐車場で「終わりの会」を実施。児童4名から「身近なところに保護林があって驚いた」、「これからも大事にしたい」といった感想などが発表され、森林教室を終了しました。

約1時間程の森林教室でしたが、見て、触って、感じたものを大事にしながら、森林の果たす役割や森林から生産される木材、さらには環境などについて、興味を育ててほしいと思います。

また、途中、スタッフが準備した輪尺で天スギの胸高直径の測定を披露。直径の測り方にも興味をもったようでした。

【きみまち杉前で】↓



【終わりの会での感想発表】↑